

銅 シンク
特注品



みよし工業株式会社
MIYOSHI INDUSTRY CO.,LTD



一般的なシンクはどれも新品状態が一番良く、次第に劣化していくのが通常ですが、銅シンクは使い込むほどアジが出て、育てる楽しみがあります。

新品の状態は光沢の有るピンクゴールドで、使っていくうちに銅特有の錆(緑青)により色合いが変化していきます。

さらに、手入れ方法の違いでも色合いが変り、世界に二つと無いシンクに育ちます。

<経年変化例>



<2ヵ月>



<半年>



<1年>



<2年>

実際に使用した銅シンクの経年変化です。

大人2人、子供1人家族の洗面・手洗いとして毎日使われています。

半年間であっという間に色が変わり、そこからはゆっくりと変化しています。

2年目では生地の光沢も落ち着き、全体に褐色し、緑青した水滴模様が重なって深見のある色合いになっています。

このように、銅はあっという間に錆ますが、鉄のように中まで錆が侵食してボロボロにならない、耐食性が高い金属でもあります。

<清掃の際の注意>

基本的には一般的なシンクと同じ清掃方法ですが、銅はとても柔らかい金属なので、凹みやすくキズが付きやすいため、物を落したり、粗いスポンジで強くこするようなことは避けて下さい。

洗剤は、一般家庭にある物で素材が痛むことはありませんが、酸性やアルカリ性の洗剤で緑青が落ちる事がありますが、落ちたとしても2・3ヵ月すれば緑青し、馴染んでいきます。

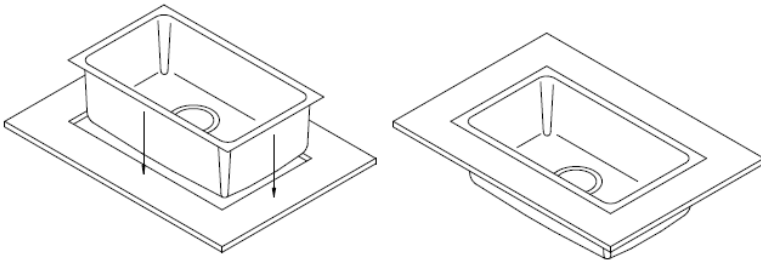
<エイジング処理>

旅館・店舗などでお使い頂く場合、変化の途中過程ではなく、最初から落ち着いた色合いで納品したいというご要望が多く、使い込んだ古美色にするエイジング処理も対応しています。



■形状、納まりの紹介

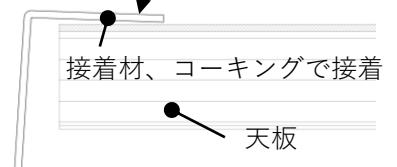
<オーバーシンク>



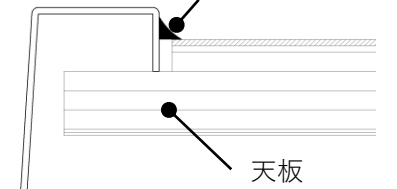
一般的なタイプです。天板に槽が落とし込むように開口加工し、フランジ部分を接着するタイプです。銅板と天板に隙間が出てくる為、ウレタンハンマーなどで銅板側を叩いてなじませる必要があります。フランジ部分を折り返して、シールシロをつくる場合もあります。

〔施工例〕

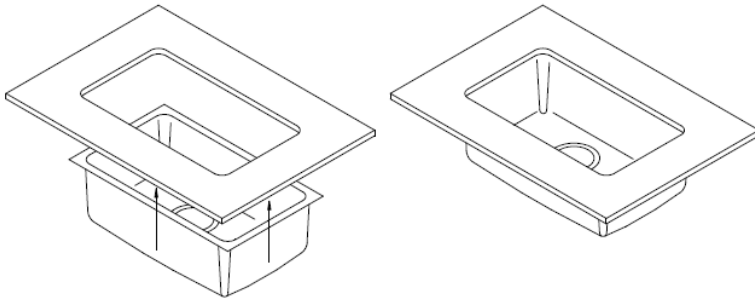
すき間は、ウレタンハンマー等でなじませる



シール、コーキング接着

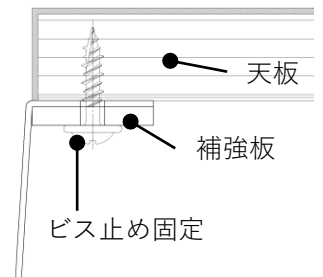


<アンダーシンク>

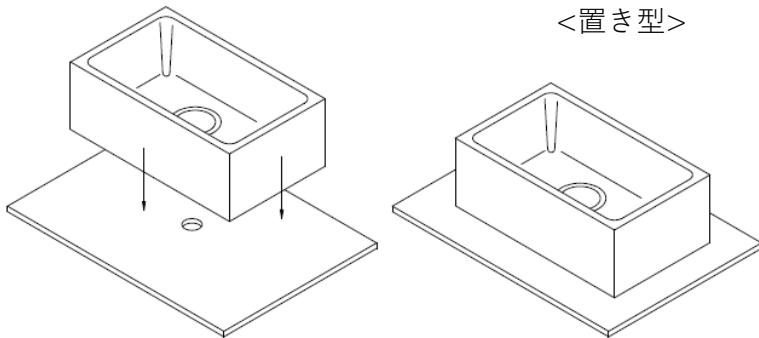


天板・カウンターの下から取付けるタイプです。人口大理石など、開口部分の小口仕上げられる天板に使われることが多いです。銅は柔らかいので大きさに応じてフランジに補強板を入れて対策します。

〔施工例〕

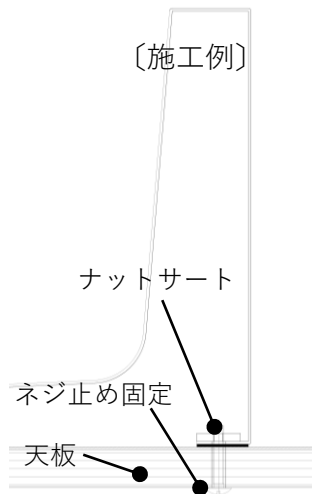


<置き型>



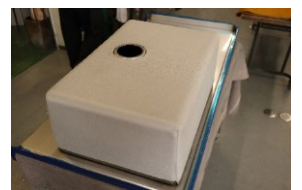
天板への加工は、排水穴と固定穴のみで取付できます。銅の存在感が出ますが、銅板を多く使う為、割高になります。

〔施工例〕



<シンクの外側>

シンク下が密閉された環境で、通気悪い状態でお使いになる場合、結露防止シートの貼付けをお勧めします。排水管が結露により錆びてしまったり、シミ・カビや住宅破損の原因になる為、その予防策になります。槽が露出する場合は、研磨仕上げをご指示下さい。強度の問題から、溶接ビードは残したままの研磨になります。



■排水金物の紹介

シンクは下水に排水することがほとんどですが、その際に下水管から悪臭や害虫が室内に侵入してくるのを防ぐトラップが必要になります。

さまざまなトラップがありますが、用途に適したトラップをご紹介します。

<ワントラップ>

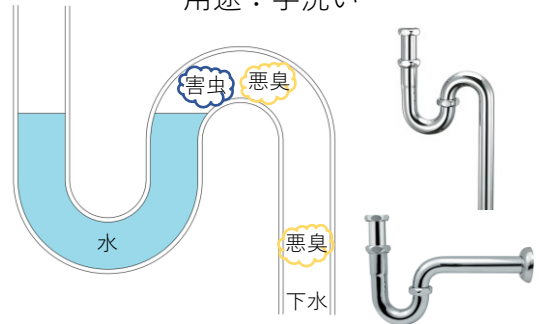
用途：キッチン、洗面



ゴミカゴが付いており、野菜の切りくずや、髪の毛などでの配管詰まりを防止します。配管が太く、排水量の多い箇所に向いていますが、塩ビ配管やジャバラで繋ぐ必要があるため、配管が見える箇所には不向きです。

<Sトラップ・Pトラップ>

用途：手洗い



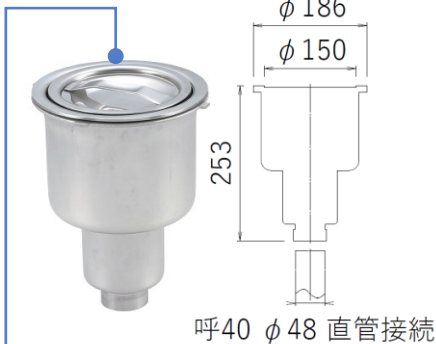
小型の手洗いボウルなどに使われます。配管をメッキされている物がほとんどで、露出配管でもキレイに納まります。配管径は細く、大量排水やゴミが出る箇所では不向きです。

<おすすめの排水金物>

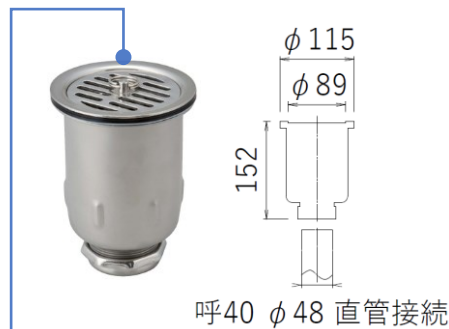
キッチン

洗面

手洗い



メーカー：SUGICO
品名：大型防臭排水トラップ
品番：TO-301
材質：ステンレス



メーカー：IMC
品名：SUS304 防臭排水トラップ
品番：NZ-SD413
材質：ステンレス



メーカー：KAKUDAI
品名：丸鉢金物
品番：430-005-25
材質：黄銅(生地)

←排水金物も銅シンクと同じように、経年で変化するよう、弊社オリジナルで見え掛かりを銅メッキ処理し、蓋を銅で作り替えしております。

<お問い合わせ>

計画されている施工図、概略案スケッチなどを先にメールかFAXでお送り頂くとスムーズです。オーバーシンク、アンダーシンクは、弊社ホームページに銅シンクセミオーダーシートをご用意しております。

大変恐縮ではありますが、オーダー、セミオーダーは業者様を対象とさせて頂いております。

TEL：023-686-4747 FAX：023-686-2647 メールアドレス：mail@miyoshi-i.com 担当：斎藤

みよし工業株式会社

MIYOSHI INDUSTRY CO.,LTD

TEL:023-686-4747
FAX:023-686-2647
mail@miyoshi-i.com